

稿 KŌCHŪ 虫

千葉県における

クロサヒラタアトキリゴミムシの記録

深町 宗通

クロサヒラタアトキリゴミムシ *Parona kurosai* HABU は、東京都下浅川を模式産地として記録された種であるが、模式産地の他には、兵庫県摩耶山、山口県下などでごく少数の記録しか知られていない。

筆者は、藤田宏氏が千葉県清澄山で採集されたゴミムシ類の中に本種を見出した。おそらく関東地方では浅川に次ぐ記録と思われるので、ここにその記録を報告すると共に、貴重な標本を御患与下さった藤田宏氏に深謝したい。

1♂1♀, 千葉県清澄山, 25. V. 1978, 藤田宏採集
(☎845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

九重山でコジュウジアトキリゴミムシを採集

深町 宗通

コジュウジアトキリゴミムシ *Lebia iolanthe* BATES はわが国では本州の主として山地帯において記録されているが、多い種ではない。九州では、すでに宮崎県で得られているが未発表のようである。筆者は大分県九重山で燈火に飛来した本種を採集しているので報告しておきたい。

1 ex., 大分県九重山, 16. VIII. 1978, 深町宗通採集
(☎845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

ヨナクニヒラタハナムグリの北限記録

長尾 悟

ヨナクニヒラタハナムグリ *Nipponovalgus yonakuniensis* SAWADA の分布記録として、沖縄本島および久米島における採集記録を報告する。与那国島・西表島・石垣島など従来分布の知られている島々より北の記録で、沖縄本島が北限記録となる。

5 exs., 沖縄本島与那 (琉球大学演習林内), 1. IV. 1973; 2 exs., 沖縄本島与那 覇岳, 31. III. 1973, 長尾悟・宮原道則採集

3 exs., 久米島, 8. IV. 1973, 宮原採集
標本はいずれも筆者が保管している。いつもコガネム

シについてご協力いただいている宮原道則氏、また、本報告をお勧め下さった三宅義一氏に深謝する。

(☎532 大阪市淀川区宮原5-4-18-409)

阿武隈山地のタマムシ 4 種

大桃 定洋

阿武隈山地のタマムシについては、わずかに田添¹⁾および筆者²⁾の断片的な報告が見られるにすぎない。

筆者は、かねてより阿武隈山地の昆虫相調査を進めており、今回、前報²⁾に続き下記の4種の興味あるタマムシを採集したので報告する。

1. アオタマムシ

Eurythyrea tenuistriata LEWIS

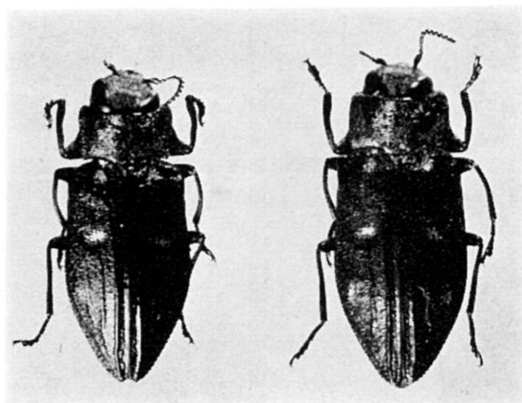
1♀, 福島県双葉郡大熊町上野上, 16. VII. 1978

土場のモミ材上から得た。この属の種としてはかなり早い発生のものである。これまでの北限地は福島県いわき市江田³⁾であったが、今回さらに約30km程北上し、かつてイワキアオタマムシ *E. obenbergeri* が記録された福島県双葉郡栖葉町木戸の北約20kmにまで達した。これにより、イワキアオタマムシはアオタマムシとエゾアオタマムシ *E. eoa* との分布地の間を継ぐ種というよりも、むしろ後者2種の針葉樹を食する系統に対し、広葉樹を食する系統(ヨーロッパに産する *E. quercus* や *E. micans* の例がある)の種ではなからうかと考えられる。すなわち、日本にはその食樹を大きく異にする2系統のアオタマムシ属が産することを暗示しているのかもしれない。

2. ツシマムツボシタマムシ

Chrysobothris samurai OBENBERGER

多数, 福島県原の町市横川赤根林道, 27~28. V, 3~4. VI. 1978



福島県原の町産ツシマムツボシタマムシ

(左: 4紋型 右: 6紋型)

本種は従来、九州および中国地方から知られていた種であったが、近年、福島県いわき市²⁾および宮城県白石市³⁾からも記録された種で、対馬以外の地ではいずれも極めて個体数が少ないようである。山土場(標高約400m)の陽の当たるクリの粗朶上に限って多数の個体が見い出された。また、本種には遺伝的な型¹⁾として4紋型 f. *samurai* と6紋型 f. *tsushimae* が知られ、それらの出現する割合は、当地においてはほぼ等しいものであった。さらに、当地では少数のムツボシタマムシ *C. succedanea* と混生(ムツボシタマムシの発生時期はツシマムツボシタマムシのそれより遅れる)しており、両者の特徴を兼ねた中間雑種のような個体も1♀得られた。なお、興味あることに、かなり強い降雨中であるにもかかわらずに雨を避けるような様子を示さないことも観察された。

3. *Agrilus* sp.¹⁾

1♀, 福島県原の町市横川溪谷, 16. VII. 1977

オニグルミの葉のスイーピングで得た。ムネアカナガタマムシ *A. imitans* に似る体長約10mmの種で、これまでに、初めて記録された福島県福島市土湯³⁾の他には神奈川県愛鷹山⁶⁾での記録が知られるだけのようである。

4. *Agrilus* sp.²⁾

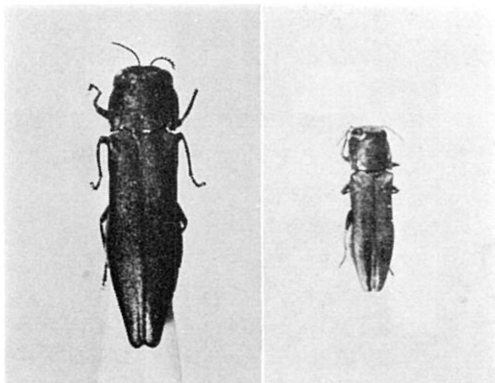
1♀, 福島県いわき市江田, 15. VII. 1978; 1♂2♀, 福島県原の町市横川赤根林道, 16. VII. 1978

いずれも粗朶(樹種不明)のピーティングで得た。シラケナガタマムシ *A. pilosovittatus* に似る体長約4mmの小型種で、内側隆線の形および上翅の微毛にその特徴があり、日本ではこれまでに報告のなかった種である。

最後に、常日頃種々のご教示をいただいている黒沢良彦博士、田添京二先生および秋山黄洋氏に深謝する。

○参考文献

- 1) 田添京二(1966): 福島生物, 9 (1)
- 2) 大桃定洋(1976): ELYTRA, 4(2), p.35



左: *Agrilus* sp.¹⁾ 右: *Agrilus* sp.²⁾

- 3) 黒沢良彦(1976): 甲虫ニュース, No.33, p.10
 - 4) 田村隆宏(1977): ELYTRA, 5(1), p.19
 - 5) 田添京二, 私信
 - 6) 私山黄洋, 私信
- (〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川沖 953-502)

マルヒラスナゴミムシダマシの

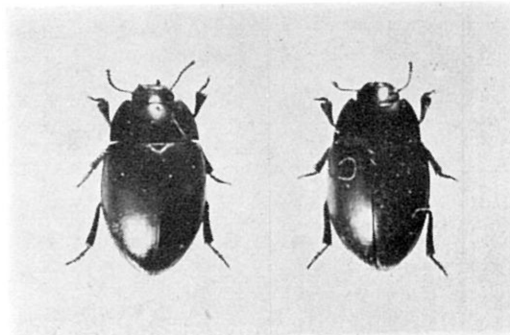
石垣島・与那国島の記録

川田 一之

マルヒラスナゴミムシダマシ *Diphyrrhynchus oha-rensis* NAKANE は従来八重山諸島の西表島からのみ記録されていたが、筆者は石垣島および与那国島で採集された本種を所持しているので報告する。

5 exs., 与那国島比川, 18. III. 1977, 鈴木互採集
35 exs., 石垣島川平, 7. VI. 1977, 川田一之採集
石垣島における個体はすべて海浜の砂中から見出し、海浜をもっと調査すれば他の島からの発見も期待がもてそうである。

末筆ながら、本種を同定して下さった中根猛彦博士、日頃お世話になっている近藤茂昭氏、ならびに標本を快くご恵与下さった鈴木互氏に深謝の意を表したい。



マルヒラスナゴミムシダマシ

(左: 与那国島産 右: 石垣島産)

○参考文献

- 1) 中根猛彦(1969): 日本産ゴミムシダマシ科目録(1), 昆虫と自然, 4 (8)
- 2) 中根猛彦(1974): 日本のゴミムシダマシ, 月刊むし, 36号

(〒164 中野区東中野 5-20-13)

南大東島のカミキリ

堤 隆文

1978年5月9~11日に、沖縄県の南大東島で採集したカミキリ5種を報告する。